

平成25年度入研協大会(第8回)概要報告

平成25年度全国入学者選抜研究連絡協議会大会(第8回)は、平成25年6月6日(木)、6月7日(金)の両日、公立大学法人首都大学東京との共催により、文部科学省、東京都教育委員会、一般社団法人国立大学協会、一般社団法人公立大学協会、日本私立大学団体連合会、全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会の御後援をいただき、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)にて開催されました。

180大学496人(高等学校関係者等45人を含む)の方に参加していただきました。

本大会では、1日目には企画討論会と公開討論会、2日目には研究会が行われました。

(1) 企画討論会は、昨年度同様、テーマを考慮して一般の方も聴講できる公開での開催といたしました。

「入試における評価尺度の多元化を考える」をテーマに3人のパネリストに登壇していただき、報告・意見交換が行われました。

(2) 公開討論会は、共催大学の首都大学東京に企画・運営をしていただきました。

「受験対策学習ばかりを助長しない入試改革や教育改革について」をテーマに4人のパネリストに登壇していただき、報告・意見交換が行われました。

(3) 研究会は、3つの研究会を平行して開催する形で6セッションに分けて開催し、41件の発表がありました。

なお、今年度も大学入試研究の推進のために重要と考えられる研究テーマを設定した企画セッションを開催いたしました。

① 第1セッション

「高校教育・入学前教育」に関連したテーマで7件の発表がありました。

② 第2セッション

「入試制度・追跡調査」に関連したテーマで7件の発表がありました。

③ 第3セッション

「AO・推薦」に関連したテーマで8件の発表がありました。

④ 企画セッション

「志願者・受験者の動向の分析Ⅱー入試制度との関連においてー」というテーマで5件の発表があり、全体討論会が行われました。

⑤ 第4セッション

「選抜方法・海外比較・特別措置」に関連したテーマで7件の発表がありました。

⑥ 第5セッション

「進路指導・広報・特別措置」に関連したテーマで7件の発表がありました。

また、大会関連行事として、大会前日には大学入試センターセミナーを開催しました。「人口減少期のセンター試験と受験出願動向の実相」をテーマに2人のパネリストによる講演とコメンテーター1人を交えた意見交換が行われました。

本大会も、共催大学の首都大学東京の皆様を始め、関係者の御協力により無事終了することができましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、来年度以降の大会をさらに発展させるためにも、より多くの方の御参加をお待ちしております。

※ 公開討論会・企画討論会と大学入試センターセミナーの内容は「大学入試研究の動向」に、研究会の発表内容は「大学入試研究ジャーナル」に掲載し、今年度末に大学入試センターのホームページに掲載する予定です。